

子ども家庭総合研究事業「小児の事故とその防止に関する研究」

田中班分担研究総括報告書

本年度実施した研究と成果は以下の通りである。

1) わが国における小児事故の現状把握

最も新しい資料を用いて、わが国の小児の事故の現状について検討を行った。近年の0～14歳の小児事故による死亡状況を先進諸外国と比較すると、わが国は0～4歳の死亡率が依然として高く、その中でも溺死と墜落による死亡が高率であることが明らかになった。また、スウェーデンと比較すると殆どの項目において2～3倍以上の死亡率で、溺死は6倍であった。今後スウェーデン並みに死亡率が減少すれば、500名近い同年代の子どもが救命できると試算された。さらに、入院や外来受診を必要とする事故の発生率もこの20年間で大幅な改善が見られないことから、子どもの事故防止対策は緊急かつ重要な課題であり、そのための研究にも全力で取り組むべきであると結論された。

2) 小児事故防止の目標値設定に関する検討

健康日本21において具体的な目標値設定の必要性が述べられていることから、事故防止においてもそれに従い、目標設定を試みた。1～4歳の事故死亡率は、年次推移のトレンドからの推定では2005年に6.8、2010年に5.3となる。しかし、これでも北欧などのレベルには至らず、そのレベルまで下げるには国家的な取り組みが必要なことが明白である。今年度は目標値設定の方法論を検討し、過去のデータ、予算、改善の可能性の評価、地域差を考慮したうえで全国平均値や国際比較値を目標とすることなどが提案されたことより、引き続き検討を行う。

3) 小児事故防止の方法論の確立

前年度実施した全国約15,000の事故例の詳細な分析により、発育段階による子どもの事故の特徴が科学的に明らかになった。この結果を基に今年度は健診用、保育園用の事故防止プログラムを考案して実施した。健診用プログラムは、各健診月齢・年齢別の安全チェックリストとそれに対応した啓発用のパンフレットより構成されている。また、保護者に対し事故防止を指導する担当者が事故防止の専門家だけでなく指導が可能なように、安全チェックリストの各項目内容についてその説明と指導のポイントを明らかにしている。また、母親・両親学級用安全チェックリストも作成した。保育園用プログラムでは、子どもの成長に合わせた8種類のパンフレットを作成し、子どもの月齢や年齢に合ったものを保護

者に配布した。さらに、これがどの程度役立ったかについて評価を行ったところ、90%以上の保護者が事故防止を意識するようになったとし、41.4%に行動の変容が見られ、24.1%が実際に事故を防ぐことができたと回答した。また、園全体をカバーする3～5歳用や幼稚園用プログラム、および応急手当法の要望が高かったことから、現在それらを作成し、次年度には規模を拡大して実施する予定である。

4) 事故防止センター開設の検討

わが国には事故に関する情報を収集・啓発する中心的機構が存在しないため、小児の事故に関する情報が一括して収集できず、文献検索等も十分に行えない現状にある。そこで、アメリカCDC内にある国立事故防止センター(NCIPC)のような機構を設立することも考慮する必要があると考え、NCIPCにおける事故防止対策や研究体制を調査した。国内では、まず、インターネットを利用して事故情報の収集と啓発を行うためのホームページを開設した。今後は宣伝やリンクにより利用を増やすことが課題である。また同時に、不慮の事故に関する研究のデータベース化に取り組んだ。将来的にはインターネットで利用可能にし、内容の充実を図る。

5) 小中学校事故の発生状況の把握と対応の検討

小中高の各学校においては、それぞれ事故の発生状況に特徴があることが明らかになった。小学校では軽度の日常的事故が多く、中学校では大きな事故が発生している。高校では事故発生数も重度の事故も少ない。各学校においてはこのような特徴を把握して対処することが必要であり、養護教諭の緊急時の対応能力も向上させる必要がある。

6) 県レベルでの事故防止事業の検討

石川県、和歌山県、鹿児島県などと協力して、地域の実情に即した小児事故防止事業を推進している。

石川県では平成9年に開設した「子どもセーフティセンター」が好評で利用が多く、現在は子どもの事故予防通を信発行するなどの取り組みが積極的に行われている。和歌山県では、市町村と協力して、健診時を利用した事故防止の保健指導を安全チェックリストを用いて実施している。鹿児島県では、事故例を募集して2000件以上を集め、事故事例集を県のホームページに掲載し、保護者や関係者への啓発を行っている。また、保健指導の効果の検証も行って、有効な保健指導法について検討した。

No.	発表者氏名	演 題	発表年月	発表機関
1	T.Tanaka, H.Ishii, M.Simizu, M.Umeda	The current situations of childhood accidents in Japan	平成11年5月	Third National Conference on Injury Prevention and Control (Brisbane, Australia)
2	H. Ishii, T. Tanaka, M. Kobayashi, T. Eto	International comparison of mortality from accidental death	平成11年5月	Third National Conference on Injury Prevention and Control (Brisbane, Australia)
3	Y. Uchiyama, T. Tanaka, Y. Ikemi, F. Osaka, T. Kuno	Regional differences in the mortality from accidental death: the cases of ordinance-designated districts and non-ordinance districts in Japan.	平成11年5月	Third National Conference on Injury Prevention and Control (Brisbane, Australia)
4	小林正子、田中哲郎	知っておきたいファーストエイド -スーパーやデパートでの事故-	平成11年6月	チャイルドヘルス 2(6):436-437
5	小林正子、田中哲郎	知っておきたいファーストエイド -海や川、プールでの事故-	平成11年7月	チャイルドヘルス 2(7):523-524
6	小林正子、田中哲郎	知っておきたいファーストエイド -旅行中での事故・病気-	平成11年8月	チャイルドヘルス 2(8):590-591
7	Ishi H, Tanaka T, Ikemi Y, Osaka H, Kobayashi I, Umeda M,	A comparative study of mortality from accidental death between Japan and other developed countries	1999.8	The 15 international scientific meeting of the international epidemiological association (Florence-Italy)
8	Uchiyama Y, Tanaka T, Kobayashi M, Mukaiida N, Oka T, Imai K	Regional differences in the mortality caused by accidental death in Japan	1999.8	The 15 international scientific meeting of the international epidemiological association (Florence-Italy)
9	田中哲郎、石井博子、 向井田紀子、杉山太幹	不慮の事故の国際比較	平成11年9月	厚生学の指標 46(10):12-17
10	小林正子、田中哲郎	知っておきたいファーストエイド -応急手当についての知識の普及度-	平成11年9月	チャイルドヘルス 2(9):21-22

No.	発表者氏名	演 題	発表年月	発表機関
11	内山有子、田中哲郎、 岡 智康、若尾 勇	保育所における小児の事故防止事業について	平成11年10月	第46回日本小児保険学会 (札幌)
12	石井博子、小林正子 田中哲郎	事故実態調査に基づいた安全チェックリスト の作成	平成11年10月	第46回日本小児保険学会 (札幌)
13	小林正子、田中哲郎 伊藤英幸、池見好昭	インターネットを利用した小児事故防止の啓 発と情報収集	平成11年10月	第46回日本小児保険学会 (札幌)
14	石井博子、田中哲郎 小林 臻	保育園用事故防止プログラムの開発	平成11年10月	第46回日本小児保険学会 (札幌)
15	石井博子、小林正子 田中哲郎	子どもの事故に関する保育園児保護者の考え 方	平成11年10月	第46回日本小児保険学会 (札幌)
16	向井田紀子、小林正子 田中哲郎	小中高等学校における事故発生状況の調査	平成11年10月	第46回日本小児保険学会 (札幌)
17	小林正子、田中哲郎	知っておきたいファーストエイドー寝室での 事故ー窒息・転落	平成11年10月	チャイルドヘルス 2(10):35-37
18	田中哲郎	わが国の小児事故の現状	平成11年10月	薬の知識 50(10):254-257
19	小林正子、田中哲郎	知っておきたいファーストエイドー窓・ベラ ンダ・階段からの転落ー	平成11年11月	チャイルドヘルス 2(11):25-26
20	石井博子、田中哲郎	子どもの事故防止プログラムの開発	平成11年11月	第58回日本公衆衛生学会

No.	発表者氏名	演 題	発表年月	発表機関
21	田中哲郎	小児保健	平成11年12月	小児科臨床 52(12):2347-2356
22	小林正子、田中哲郎	知っておきたいファーストエイド -食事に関連する事故-	平成11年12月	チャイルドヘルス 2(12):916-918
23	田中哲郎	チャイルドシートにおける事故防止プログラムの開発	平成11年12月	子ども家庭福祉情報 15:1-4
24	田中哲郎	子どもの事故とその特徴	平成12年	小児科
25	田中哲郎	子どもの事故防止対策	平成12年	小児科
26	小林正子、田中哲郎	知っておきたいファーストエイド -インターネットによる小児事故防止と事故例の収集-	平成12年1月	チャイルドヘルス 3(1):31-33
27	石井博子、田中哲郎	保育園における事故防止プログラムの開発	平成12年1月	保育と保健5(2):37-40
28	田中哲郎、岡 智康	保護者と応急手当 -その必要性和理解度-	平成12年2月	薬の知識 51(2):45-47